

# 平成29年度学校自己評価システムシート（県立本庄高等学校 全日制課程）

目指す学校像 **活力ある進学校 ～個性を伸ばし、世界にはばたく人材を育成する～**

重点目標	1	高い学力を身につけることができる学習指導の充実と授業研究の推進
	2	夢を育み、高い目標に向かってチャレンジする精神を育む進路指導の充実
	3	自主・自律の精神に則り、知・徳・体のバランスのとれた人間形成を図る生徒指導の充実
	4	地域から信頼される開かれた進学重視型単位制高等学校の体制の充実

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価					年度評価(2月8日現在)		
年 度 目 標			年度評価(2月8日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】「生徒にもう少し勉強させよう」という目標の具現化に向け、年次や教科を中心に取り組むことができた。放課後の図書室で自学自習をする生徒が昨年よりも増加するなど、全体的に勉強する雰囲気はできてきている。また、特進クラスの今後の運営について特進連絡会で検討を進めている。</p> <p>【課題】依然として1週間10時間の自学自習時間が確保できていない状況がある(1年平均5.0h、2年平均4.6h)ため、授業以外での学習時間確保が必要である。また、各教科で学力向上に向けた取組を行っているが、引き続き大学入試に対応できる実践力の育成を図るとともに大学入試改革に対応した指導の充実・改善に取り組む必要がある。</p>	<p>生徒一人一人が自学自習を習慣化し、1週間10時間以上の学習習慣を確立する。</p> <p>県の事業を活用した授業力の向上、生徒の主体的な学習を促す授業改善を図る。「学びのすすめ」の活用・定期考査等の工夫改善を図る。</p>	<p>①各教科で具体的な学習到達目標を設定し、基礎学力をさらに向上させるための手立てを講じる。</p> <p>②特進クラスの運営について協力体制を構築するとともに、特進クラスを牽引役として、全体の学力を向上させる。</p> <p>③1年次生に対し学習法講座を定期的実施することにより、望ましい学習観、学習方法の確立を目指す。</p> <p>④生徒同士のピアサポート(教え合い)を推進する。</p>	<p>①～④により、70%以上の生徒が、1週間あたり10時間以上の自学自習の時間を確保したか。</p>	<p>生徒(1・2年次)の24%が1週間あたり10時間以上の自学・自習時間を確保した。(1年次:17%、2年次:32%)</p> <p>①各教科担当レベルで学力向上に向けた取組を行った。</p> <p>②来年度入学生から特進クラスの募集人員を80名2クラス編成に増加した。</p> <p>③新入生オリエンテーション、特進クラス学習合宿、1年次総合的な学習の時間に学習法講座を行った。</p> <p>④特進クラス学習合宿、1年次総合的な学習の時間を中心にピアサポート(教え合い)を行った。</p>	B	<p>「生徒は自学・自習の習慣が身に付いている」と感じている教職員は25%であった。</p> <p>変化する大学入試に対応するため、授業改善の継続と探究学習の充実を図っていく。計画的に基礎力の充実、大学入試に対応できる実践力の育成に取り組まなければならない。</p> <p>年次や教科で取り組んでいることを学校全体で共有し、3年間を見通した計画を立て、学力の向上を図っていく。</p>
2	<p>【現状】進路講演会や国・県のキャリア教育関係の事業を通して、生徒の高い志を育成し、世界に目を向けさせる取組を実施してきた。</p> <p>【課題】引き続き、計画的・継続的な将来設計学習を通じて、将来への具体的な展望をもたせるとともに、自身の目標に向かって、最後まであきらめずに追求する態度を育成していく。併せて進路指導の観点から教育課程の見直しを行うとともに、ガイダンス機能の充実を図る必要がある。</p>	<p>将来設計学習、キャリア教育の充実を図り、生徒の高い志を育成する。</p> <p>進路実績の質的向上、最後まであきらめない進路指導を実践する。</p>	<p>①1年次から2年次にかけて、将来設計学習を計画的に実践することにより、生徒一人一人はつきりとした将来の目標を持たせる。</p> <p>②外部講師や本校同窓生を活用した講演会の実施により、生徒の高い志を育成する。</p> <p>③オーストラリア研修をはじめとする国際交流に力を入れ、世界に目を向かせる機会を設ける。</p>	<p>①総合的な学習の時間などを活用した「将来設計学習」を計画的に実施できたか。</p> <p>②外部講師や本校OBによる講演会を実施できたか。</p> <p>③国や県の事業を活用して多くの生徒が国際交流にかかわることができたか。また、その成果を発表する機会を設けたか。</p>	<p>将来設計学習やキャリア教育を通して生徒の高い志を育成した。</p> <p>①総合的な学習の時間を活用し、将来設計学習のフィールドワークや発表会の機会を設けた。</p> <p>②地元企業関係者や大学生及び本校OBなどによる進路指導を実施した。</p> <p>③エッセンドンキーローカレッジとの姉妹校締結で国際理解教育が定着した。9月からアメリカとブラジルより2名の留学生を受け入れ、同国へ2名の生徒を派遣した。1月から3月まで2名の生徒がオーストラリア・ターム留学に参加している。文化祭や全校集会で成果発表の機会を設けた。</p>	A	<p>進路・キャリア教育は、年次・担任を中心に個々の生徒に対する丁寧な指導がなされている。</p> <p>将来を見通した進路選択ができるよう、キャリア教育の充実を図るとともに、3年間を見通した具体的な進路指導計画の作成が急がれる。</p> <p>国際交流の取り組みをさらに活性化させる。</p>
			<p>①「進路のしおり」やスタディサポート、FINEシステムなどを有効活用し、個別指導を充実させた。</p> <p>②生徒を伸ばす観点から、教育課程のさらなる改善に着手する。</p> <p>③総合的な学習の時間なども活用し、3年間を見通した進路指導計画を立案する。</p>	<p>①「進路のしおり」やスタディサポート、FINEシステムを十分に活用した進路指導を実施することができたか。</p> <p>②平成30年度入学生の教育課程について見直しが行えたか。</p> <p>③3年間を見通した進路指導計画を策定することができたか。</p>	<p>進路、担任を中心に、生徒一人一人に対して丁寧な指導が行われた。</p> <p>①教員の75%がスタサポやFINEシステム活用した進路指導を行った。</p> <p>②教育課程の見直しには着手できなかった。</p> <p>③各年次で進路指導年間計画に基づき進路行事を行った。</p>	B	<p>次期学習指導要領を踏まえ、教育課程の見直しをする。</p> <p>①教員は高大接続改革を見据えた進路指導計画を作成する必要がある。</p>
3	<p>【現状】遅刻防止指導、整容指導の継続的な取組により、生徒は規律ある落ち着いた学校生活を送っている。また、文化祭や体育祭などでの生徒による自主的な活動や部活動を通じて心身の豊かな成長が促されている。</p> <p>【課題】部活動と学習の両立を図り、バランスの取れた人間形成を目指すとともに、生徒一人一人の生活習慣の見直しを促す。</p>	<p>「時を守り、場を清め、礼を正す」指導を徹底する。</p> <p>知徳体のバランスの取れた豊かな成長を促す。</p>	<p>①整容指導をはじめとして、教員間で生徒指導方針の共通理解を図る。</p> <p>②交通安全指導に引き続き力を入れ、登下校時のマナーアップを推進する。</p> <p>③アルバイトについて適切な指導を行う。</p> <p>④ネット利用のルールやマナー、スマートフォンの節度ある利用を考えさせる。</p>	<p>①教員間で生徒指導の共通理解を図ることができたか。</p> <p>②交通安全指導を充実し、登下校時のマナーを改善することができたか。</p> <p>③アルバイトについての適切な指導を検討し、実践することができたか。</p> <p>④ネット利用のルールやマナーについて、折に触れ注意を喚起することができたか。</p>	<p>組織的に整容・交通安全・遅刻防止等に取り組んだ。</p> <p>①教員の69%が「生徒指導部が積極的である」と感じている。</p> <p>②生徒の77%が「交通安全指導に積極的である」と感じている。登下校のマナーについて時々苦情が寄せられる。</p> <p>③アルバイト許可願提出の徹底を図っている。</p> <p>④スマホ利用マナーで、生徒指導部から生徒の自主性を引き出す提案を行った。今後検討する。</p>	B	<p>整容指導をはじめとして、生徒指導方針についての共通理解が図られた。今後も、生徒指導部を中心に組織的に取り組む。また、遅刻・欠席数の減少は、基本的な生活習慣の確立において重要なポイントであり、今後も引き続き指導していく。</p> <p>部活動顧問の理解と協力により、自学・自習時間の設定や英検、希望模試への参加など積極的な取組がみられ、部活動と学習との両立は改善しつつあるが、さらに改善が求められる。</p>
			<p>①部活動への積極的な参加を促すと同時に、学習に向かう姿勢を大事にするよう働きかける。</p> <p>②生徒会を中心に諸行事やボランティア活動に積極的に取り組む。</p> <p>③教育相談委員会と年次団の連携により、課題を抱える生徒に対する丁寧な支援を行う。</p>	<p>①部活動と学習の両立ができたという生徒が昨年度より1割増しになったか。</p> <p>②生徒会を中心とした諸行事、部活動や有志による生徒の自主的なボランティア活動を活発に実施できたか。</p> <p>③教育相談委員会を定期的に開催できたか。</p>	<p>部活動の加入率は92%である。(5月現在)</p> <p>①生徒の58%が「学習と部活動の両立できている」と感じている。(昨年度40.5%)</p> <p>②生徒の94%が「文化祭・体育祭等、学校行事が充実している」と感じている。</p> <p>③教員の83%が「生徒の悩み等に関する相談に適切に対応している」と感じている。教育相談委員会を定期的に開催した。</p>	A	
4	<p>【現状】進学重視型単位制高校として、34単位の授業を展開している。土曜授業や特進クラスの運営、探究学習の在り方など、これまでの取組について検証を実施した。また、地域との連携を強化し、昨年の高校入試では、北部地区で最も高い倍率を実現した。</p> <p>【課題】今年度は、次期学習指導要領を踏まえ、教育課程の見直しに着手する必要がある。また、年々活発になってきた国際交流の取組を定着させ、さらに活性化させながら本庄高校ならではの特色化を図っていく必要がある。教職員の意識の共有を図りつつ、大学や研究機関、地域との連携を強化し、地域の期待に応える活力ある進学校を目指す。</p>	<p>4年間の取組を検証し、進学重視型単位制の特色を生かした学校運営の充実を目指す。</p> <p>地域から信頼される開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①引き続き生徒のための進路実現、生徒を伸ばす指導体制を構築する。</p> <p>②本校の教育活動の特色の一つである「探究学習」を効果的に実施する。</p>	<p>①土曜公開授業、7時間授業の実施、特進クラスの運営など、生徒を伸ばす観点から検証し、本校の特色を生かした学校運営について教員の一致した見解が得られたか。</p> <p>②「探究学習」の在り方について、よりよい方向性を見出すことができたか。</p>	<p>進学重視型単位制の特色を生かした学校運営について引き続き検討する。</p> <p>①特進クラスの運営について現状と課題を検証し、職員会議で来年度からの改善策を立てた。生徒の76%、保護者の84%、教職員の77%が「生徒の個性や能力を伸ばしている」と感じている。</p> <p>②総学委員会と年次団が連携し、2年次の「探究学習」で新たな企画に取り組んだ。</p>	A	<p>特進クラスの運営は、今後も検証と工夫・改善を図り、本校の特色ある教育活動として位置づけていく。</p> <p>探究学習について、生徒につけさせたい力を確認し、3年間の計画を立て検証を進める。</p>
			<p>①情報管理部と管理職が連携し、学校HPの情報発信を工夫する。</p> <p>②学校説明会の運営を工夫し、中学生及びその保護者に効果的な情報提供を行う。</p> <p>③引き続き地元小中学校と連携し、生徒のボランティア活動で地域に貢献する。</p> <p>④PTAや同窓会と連携を密に、学校行事や教育活動の活性化を図る。</p> <p>⑤2年生の総合的な学習の時間を活用し、6月に企業人による講話・座談会を実施する。</p>	<p>①学校HPの内容を最新情報に更新することができたか。</p> <p>②学校説明会で本校の魅力を適切に情報提供することができたか。また、中学生・保護者が参加は延べ2500名に達したか。(昨年度2490名)</p> <p>③地域の小中学校とのスポーツ交流や学習支援ボランティア等円滑に実施できたか。</p> <p>④PTAや同窓会と連携を密にし良好な活動が実施できたか。</p> <p>⑤地域の企業人と連携し、企業人による講話・座談会が実施できたか。</p>	<p>生徒・保護者の79%、教職員の83%が「地域や保護者に情報提供を積極的に行っている」と感じている。</p> <p>①学校HPを整理し部活動などの最新情報を更新しやすくした。</p> <p>②学校説明会など各種行事で延べ4200名に情報提供と説明を行った。</p> <p>③地域の小中学校や特別支援学校とスポーツ交流・学習ボランティア・出前授業を行い好評を得た。</p> <p>④同窓会奨学金制度の創設を支援し10名の生徒が選考された。PTAとの連携は円滑に行われた。</p> <p>⑤地域の企業人による講話・座談会を実施した。</p>	A	<p>12月調査結果では、本校志願者の倍率は1.44倍である。(昨年1.56 一昨年1.48)</p>

学校関係者評価	
実施日	平成30年2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>生徒の頑張りや先生方の熱心な指導のお蔭で、以前に比べて、評価システムの内容が飛躍的に向上している。</p> <p>今後も着実に実績が上がり、公立の「活力ある進学校」として存在感を示してほしい。</p> <p>若いうちは、力を出して活発に活動してもらいたい。</p>	
<p>保護者をもっと取り込んで、キャリア教育への参画を促すこともできるのではないかな。</p> <p>内閣府の試算では、43年後2060年には、本庄市は5万人を切るという予想があり、状況は変化している。長期的なビジョンを持った方がいい。将来につながる学びを得るために大学へ行った方がいい。</p>	
<p>整容指導等が積極的で、全体的に以前よりも質が良くなっていると感じる。</p> <p>不審者が出るのであれば、地元企業にも協力を依頼して防犯カメラをつけてもらえばよいのではないかな？</p> <p>本庄高校の生徒は非常にモラルが高いと思う。生徒には、もっと自信を持ってもらいたい。</p> <p>学校行事が盛んでそれに向けてみんなで協力できている。生徒としては、SNSの使い方についてももう少し考えるべき所がある。</p> <p>IT関係の会社を経営しているが、情報のアップについては間違いは許しても、誹謗中傷は絶対にだめだといつも言っている。SNSのルール作りをした方がいい。</p>	
<p>頻繁にホームページを更新し、情報を出してもらいありがたい。</p> <p>最近、本庄高校を誇りに思うようになってきている。</p> <p>文化祭、体育祭を見に来る保護者が増えている。</p>	